

水替対象日数計算表

工種	種別	細別	規格	数量	単位	1日当り 施工量	単位	日数	備考
河川土工	作業土工	床堀工 床掘り	土砂 標準 障害無	50	m3	220	m3/日	0.2	積算基準 I-14-④-16
法覆護岸工	環境護岸ブロック工	ブロック積工	JISタイプの積ブロック(間知・ブロック質量150kg/個未満)調整コンクリート等	100	m2	11	m2/日	9.1	積算基準 VI-1-⑤-1
	小口止工	コンクリート工	コンクリート 無筋・鉄筋 人力打設 10m3未満	30	m3	4	m3/日	7.5	積算基準 I-14-④-55
		型枠工	型枠 鉄筋・無筋構造物	100	m2	38	m2/日	2.6	積算基準 I-14-④-55
	すり付け工	石積(張)工 石積(張)工	積工 練石(玉石・雑割石)	20	m2	19	m2/日	1.1	積算基準 I-14-④-24
	岩着基礎	コンクリート工	コンクリート 無筋・鉄筋 人力打設 10m3未満	10	m3	4	m3/日	2.5	積算基準 I-14-④-55
合計							日	23.0	

排水区分

常時排水

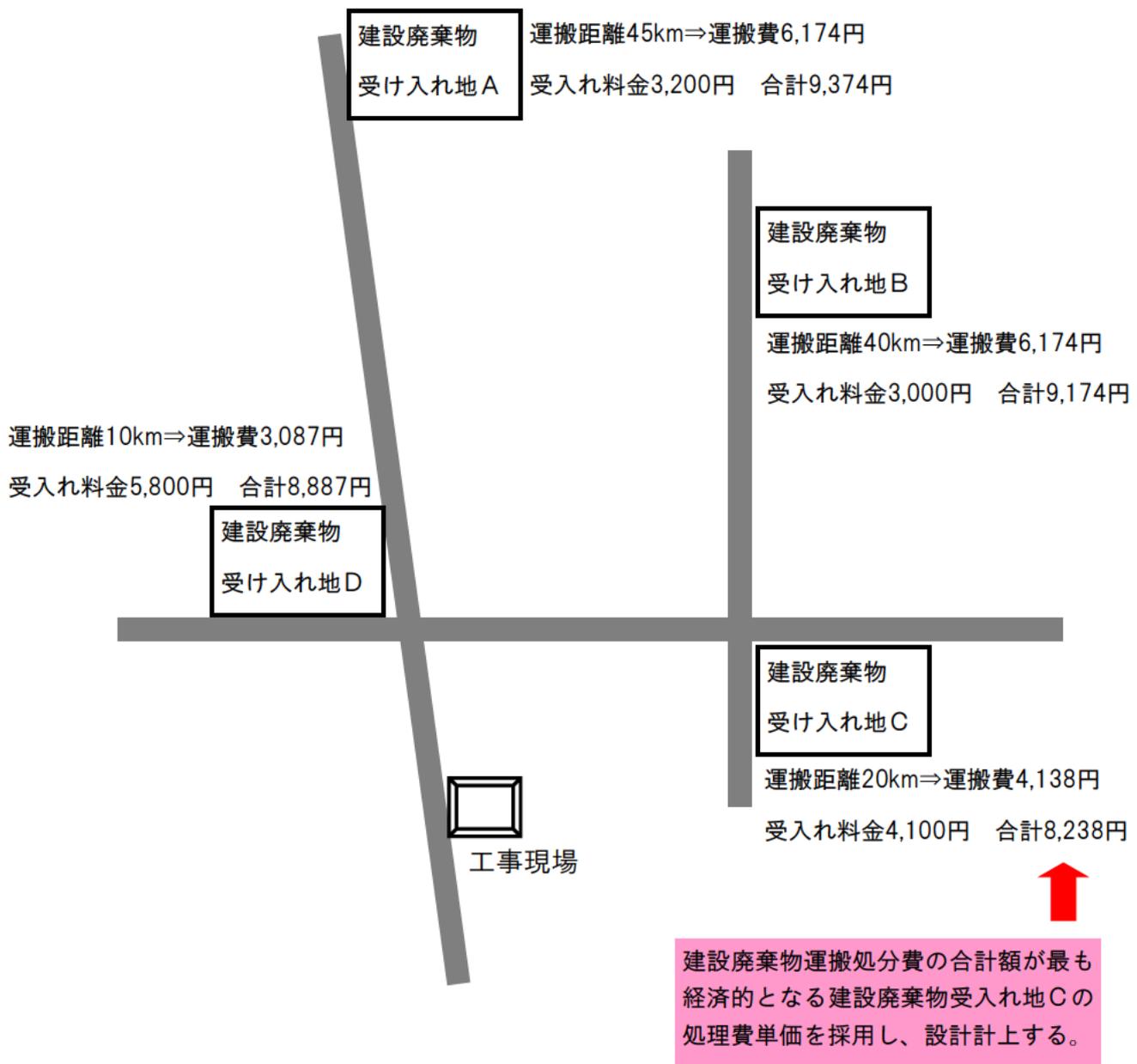
水替日数合計 =

23.0 × 1.7 日 より

39.1 日

■建設廃棄物運搬+処分費比較のイメージ

例) アスファルト1tあたり



積算担当者はインターネット上のデジタルマップで経路を取得し、経済比較の根拠資料としている。

経路取得は単純作業ではあるが、建設廃棄物処理場によって受入れ可能な廃棄物に差があり、かつ現場条件によって運搬費も異なるため、経済比較に多くの時間を費やしている。

(無筋コンクリート、鉄筋コンクリート、アスファルト、刈草、伐木等)

このため、事前に三重県内の建設廃棄物処理場と各種受入れ料金を登録しておき、積算担当者は工事現場の位置と廃棄物の種類を指定するだけで経済比較根拠資料を作成できるサブシステムが望まれる。

